



田園地帯を走る“デハニ50形”（一畑電鉄 松江市～出雲市）
宍道湖北岸を東西に結ぶ一畑電車では、日本最古級の木造電車
“デハニ50形”（昭和3・4年製造）が昨年3月まで運行されてい
ました。惜しまれつつ現役を引退した電車でしたが、今年、映画
「RAILWAYS（レイルウェイズ）」（監督：錦織良成 主演：中
井貴一）の舞台となり、脚光を浴びています。

C O N T E N T S

2	平成22年度通常総会
3	平成22年度事業計画
4	平成22年度通常総会講演会・懇親会
5	平成22年度しまねソフト産業ビジネス研究会
6	講演会等活動報告
7	会員名簿
8	会員社紹介(第9回) 合同会社島根OSS研究所・株式会社エスティック

平成22年度 通常総会



平成22年5月19日サンラポーむらくもにおいて、平成22年度通常総会を開催しました。当日は、経済産業省中国経済産業局 平井参事官、総務省中国総合通信局 笠木部長はじめ7名の来賓を迎え、正会員29社46名が出席しました。議長には、吉岡副会長が選出され、審議の結果、第1号議案「平成21年度事業報告」・第2号議案「平成21年度決算報告」・第3号議案「平成22年度事業計画及び予算」・第4号議案「会員代表者変更に伴う理事交替承認の件」・第5号議案「一般社団法人への移行の件」の5議案は、原案通り可決承認され、無事終了いたしました。

- ◆会長挨拶 多久和 厚
- ◆来賓祝辞 経済産業省中国経済産業局 地域経済部 参事官 平井 信義氏
総務省中国総合通信局 情報通信部 部長 笠木 繁樹氏
- ◆新入会員挨拶 合同株式会社島根O S S 研究所 職務執行者 鈴木 裕紀氏
中京連携マネージャー 小数賀 崇氏
- ◆議長選出 吉岡 宏
 - 第1号議案 平成21年度事業報告（事務局）
 - 第2号議案 平成21年度決算報告、監査報告
 - 第3号議案 平成22年度事業計画および予算（報告事項）
 - 第4号議案 会員代表者変更に伴う理事交替承認の件
 - 第5号議案 一般社団法人への移行の件
- ◆その他
 - ・しまねソフト産業ビジネス研究会活動について
 - ・RubyWorld Conference 2010開催について



多久和会長挨拶



来賓祝辞 平井信義氏



来賓祝辞 笠木繁樹氏



新入会員挨拶 鈴木裕紀氏



新入会員挨拶 小数賀崇氏

平成22年度事業計画

当協会は、島根県の情報産業基盤の強化・振興に資するため、情報化の普及啓発と人材育成をめざすとともに、地域の情報化促進を図るため、次の事業を行う。

〔事業の概要〕

① 会議

協会活動の指針を策定するとともに会員相互並びに諸団体との交流を図り、会員相互の連携強化と協会活動の円滑な運営を目的とした会議を開催する。

② 関連機関・団体との協調

島根県をはじめとして経済産業省、総務省、また地元の商工団体、しまね産業振興財団等関係諸団体との連携強化を図り、地域の情報化促進並びに情報産業振興のための事業を実施する。

③ 上部団体等との連携

(社)情報サービス産業協会（JISA）をはじめとする国の外郭団体との連携強化を図り、協会事業の推進について支援を要請する。また関連する情報・資料等の入手に努め、会員へ綿密な連絡を図る。

④ 広報活動と情報交換

定期的に機関紙「しまね情産協」を発行するとともに、関係の機関や団体との情報交換を図る。

⑤ 人材の育成

進展しつつあるIT社会の中にあって、情報関連の技術・多様化するニーズに対応する人材の育成を目的とした各種研修会、セミナー等を開催する。特に、高度IT技術推進や市場開拓等ができる人材の育成に積極的に取り組む。

⑥ 組織強化

島根県内の情報産業及び関連産業の企業に対し、新規会員の参加を呼びかけ、協会基盤の拡大と強化を図る。

〔事業委員会の活動目標〕

事業推進のために3つの事業委員会を定め、各委員会に委員長・副委員長を置く。

① 総務企画委員会

会員相互の連携を図るための行動計画を企画し実行する。

- (1) 会員相互の親睦と連携の強化に努め協会の活性化を図る。
- (2) 各種情報の入手に努めるとともに会員社への情報発信に努める。
- (3) 機関紙「しまね情産協」を定期的に発刊する。
- (4) 新公益法人移行に関する業務。

② 地域情報化委員会

地域の情報化を積極的に推進すると共に人材育成、ソフト系IT産業振興に取り組む。

- (1) 会員企業の社員向け研修を企画し、人材育成を推進する。
- (2) 情報化月間において、情報化推進を目的とした行事を開催する。
- (3) しまねソフト産業ビジネス研究会
県外からのビジネス獲得に向けた提案・受注活動及び県内製品の拡販を推進する。
総会や研修会を通して、会員相互の交流を促進する。
- (4) 9月に松江で開催されるRuby国際会議への参加および協力を実施。

③ 組織強化対策委員会

- (1) 新規会員の加入促進を図るため、未加入団体への呼びかけを実施。
- (2) 会員の公的な情報関連資格の取得を推進する。
- (3) 会員相互の親睦と組織強化を目的とし、春期に「ボウリング大会」、秋期に「ゴルフコンペ」を実施。



平成22年度通常総会 講演会・懇親会

平成22年度総会に続いて開かれた講演会には、78名と多数の参加がありました。

講演1は、中国電力(株)広報・環境部門マネージャー 宅和操氏から「地球温暖化と日本の取り組み」と題し、又、中国電力(株)出雲電力所 所長 吉井誠一氏から「スマートグリッドの可能性」と題して講演していただきました。

講演2は、隠岐の島町定住対策課課長 岡田清明氏から「地方資源を活用した環境産業への挑戦」と題して講演していただきました。

講演会は、地球環境問題をテーマとした内容で、環境エネルギー問題の先頭にたって取り組んでおられる、中国電力(株)様と、里山・里海再生を核とした環境産業に取り組んでおられる隠岐の島町様からのご講演により、地球環境とITの新たな可能性についての知識を深めることができました。

引き続き開かれた懇親会は、58名が参加し、盛会となりました。中島新理事の司会進行及び開会宣言を皮切りに、島根県商工労働部 広野正充次長の来賓祝辞、吉岡副会長の乾杯ではじまり、途中、Rubyラーメン争奪じゃんけん大会などあり、終始和やかな雰囲気の中で、会員相互の情報交換や親睦を深める有益な場となりました。最後に、恒例となりました島根県民歌の大合唱の後、松江高専教授で当協会の顧問でもあります藤井教授の中締めで閉会となりました。



広野正充 島根県商工労働部次長



松江高専 藤井教授

講演1

演題1：地球温暖化問題と日本の取り組み

講師：中国電力(株) 広報・環境部門マネージャー 宅和 操 氏

- 内容**：
1. 地球温暖化の状況
 2. 世界の取り組み
 3. 日本の現状と取り組み
 4. 地球温暖化対策基本法案
 5. 国際排出量取引のトピックス
 6. 低炭素社会に向けた当社の取り組み



宅和 操氏

演題2：スマートグリッドの可能性

講師：中国電力(株) 出雲電力所 所長 吉井 誠一氏

- 内容**：
1. スマートグリッドについて
 2. 日本で必要とされるスマートグリッドの機能
 3. スマートグリッドの機能への対応



吉井誠一氏

講演2

演題：地方の資源を活用した環境産業への挑戦

講師：隠岐の島町定住対策課 課長 岡田 清明 氏

- 内容**：
1. 隠岐の島町の概要
 2. 隠岐の里山・里海の課題
 3. 「緑のコンビナート」の概要
 4. 隠岐の島町バイオマスタウン構想
 5. 里山活性化の考え方
 6. 里海活性化の考え方
 7. 今後の取組イメージ



岡田清明氏

平成22年度 しまねソフト産業ビジネス研究会

平成22年度第1回しまねソフト産業ビジネス研究会が7月12日くにびきメッセで開催されました。

この研究会は、県外ビジネスの獲得に向けて、当協会と島根県が提携して、当協会地域情報化委員会の下部組織として発足させたもので、平成20年6月に、県内ソフト系IT企業33社900名体制でスタートし、現在では、39社1000名体制までに拡大しています。



吉岡代表挨拶



稲垣克好島根県商工労働部次長

総会では、代表を務める吉岡宏氏の挨拶の後、島根県商工労働部 稲垣克好次長より、「本来の意味での情報政策」と題して講演をいただきました。続いて今年度の研究会活動方針及び各分科会活動方針について、①システム開発分科会②Ruby開発分科会③パッケージ営業分科会の各委員から、発表がありました。

研究会終了後、場所を移した懇親会は、たいへん賑やかな楽しい場となりました。

全体活動方針

当研究会が発足して、3年目の年となります。何事も3年を1つの節目として、次のステップを考えることとなります。今年度は目に見える形で成果を出したいと考えています。

7・8月に昨年度に続いて、IT従事者数アンケートを実施し、島根県や主要な市に報告を行ないます。行政が私どもの業界を応援してくれる最も大きな理由が、雇用の拡大です。

また、中部IT協同組合との連携を推進し、9月には企業のマッチングの機会を設け、中京地域の製造業のシステムと良い関係を作って行きたいと思えます。

分科会の活動方針

①システム開発分科会

昨年度の活動は、2件の案件受注と分散開発環境の構築が実績です。

平成22年度活動方針としては、

- (1)「島根モデルのブランド形成から強化へ」として、システム開発分科会とRuby分科会の連携をし、シナジー効果を得て、より一層の他との差別化を図ります。また、島根県にもご支援いただき、実績のあるユーザーへの営業活動を強化し、リピータを獲得します。分科会メンバ企業の強みを情報共有し、島根モデルの適用範囲の拡大を目指します。
- (2)「分散開発環境インフラの実用化と共有化」として、都市圏ユーザーが安心する環境の構築を実施します。共同受注企業社間での環境の共有化の仕組みを作ります。



②Ruby開発分科会

Rubyの波は、松江から島根へ、さらに中国地域へと拡大しており、中国経済産業局では今年度「ちゅうごく地域Rubyフォーラム」を実施し、開発環境の整備やクラウド対応を推進していくこととなります。積極的にフォーラムに参加し、活動を分科会活動と連動させます。

RubyWorld Conference 2010が昨年が続いて実施され、社会や生活の様々の所でRubyが使われていることが発表されます。松江市や島根県のRuby調達はピークに来ており、業務システムにRubyを活用する機運が高まっています。また、首都圏の金融系Slerから、Ruby技術支援依頼がビジネス研究会にあり、積極的に取り組んでいます。



③パッケージ営業分科会

平成21年度に、島根県に要望していたパッケージ営業支援策の一部（展示会支援）が販路開拓助成金として認められたことにより、分科会メンバ企業を中心に、積極的な展示会の出展活動を実施しました。

パッケージ製品の特性により、対象業種やユーザーが大きく異なることから、統一的な拡販活動を行なうことが難しい状況です。今年度は、オープンソースの活用やブランド化などパッケージ製品の開発や間接的な営業活動を推進します。



新年祝賀会

平成22年2月1日、松江東急インにおいて、「平成22年JETRO、社団法人島根県情報産業協会合同ICTビジネスセミナー・新年会」が開催され、溝口善兵衛島根県知事、松浦正敬松江市長をはじめ、中国経済産業局、島根県、松江市、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会会員等、72名が参加しました。

セミナーは、当協会多久和厚会長の主催者挨拶につづき、島根県知事の溝口善兵衛様、松江市長の松浦正敬様から、来賓祝辞の挨拶をいただきました。

講演1では、PayPal Japan 製品戦略マネージャー 太田良恵子氏をお招きし「進化するネット決済」と題してご講演いただきました。

講演2では、JETRO 対日投資部対日ビジネス課長 藤井真也氏から、「2010年、世界のIT業界動向と日本市場」と題し、JETRO支援外国企業の分析結果をご講演いただきました。

その後、場所を移して、新年会を開催。60名と多数の会員参加をいただき、盛会となりました。

吉岡宏副会長の進行で、冒頭、秀浦実晴副会長の主催者挨拶につづき、島根県商工労働部長 小林淳一様のご挨拶、中国経済産業局参事官 平井信義様の御発声による乾杯で祝宴が開始されました。

宴の中ほどでは、島根県商工労働部次長 稲垣克芳様と、Nacl代表取締役社長 井上浩様にご挨拶をいただきました。

秀浦副会長の名指揮のもと、全員で島根県民歌を合唱後、JETRO 松江 宮尾所長の中締めで新年会もお開きとなりました。



講演会
太田良恵子氏



講演会
藤井真也氏



溝口善兵衛
島根県知事



松浦正敬松江市長



小林淳一島根県
商工労働部長

活動実績（平成22年1月～平成22年7月）

- 平成22年1月22日(金)～23日(土)
テクノアークしまね
提案力強化研修会



研修会の様子

- 平成22年2月1日(月) 松江東急イン
平成22年JETRO、情産協
合同ICTビジネスセミナー・新年会



講演会の様子

- 平成22年3月18日(木) 島根県民会館
情産協・ビジネス研合同勉強会



勉強会風景

- 平成22年5月19日(水) サンラポーむらくも
平成22年度島根県情報産業協会総会



親睦会

- 平成22年7月5日(月) 中国経済産業局
中国5県情報産業協会会長懇談会
 - ・中国地域経済活性化プロジェクト2020について
 - ・平成22年度地域情報化施策等について
 - ・中国経済産業局の平成22年度IT関連事業について
 - ・総務省のICT施策について
 - ・〈意見交換〉情報関連産業の活性化に向けて

- 平成22年7月12日(月) くにびきメッセ
平成22年度
第1回しまねソフト産業ビジネス研究会



研究会

社団法人島根県情報産業協会 会員名簿

2010.07.01 現在

会 社 名	代 表 者	連絡担当者	住 所	ビル名等	電 話
〔正会員〕					
(株)アイ・コミュニケーション	代表取締役社長 目次 真司	安食 文男	松江市北陵町47番地		0852-28-1001
(株)アイテック	代表取締役 宮川 則男	山田 幸子	松江市西川津町4210		0852-24-5220
(株)アキュートシスコム	代表取締役 藤原 文幸	藤原 文幸	松江市乃白町334番地6		0852-31-9101
(株)アバンセ	代表取締役 福間 英	福間 英	松江市学園南1丁目15番	10-203号	0852-26-3255
出雲ケーブルビジョン(株)	代表取締役 今岡余一良	花籠 良明	出雲市渡橋町228-1		0853-21-9811
(株)エステック	代表取締役社長 中筋 雄三	伊藤 淳	出雲市白枝町607番地6		0853-22-8140
(株)NTTファシリティーズ中国 島根支店	支店長 野坂 賢治	藤原 有	松江市東朝日町102		0852-25-8000
(株)エネルギー・コミュニケーションズ島根支店	支店長 泉 和之	高橋 淳一	松江市母衣町115番地	中国電力島根支社4F	0852-22-9881
(株)オネスト	代表取締役社長 石碕 修二	大塚 勝	松江市上乃木4丁目23番50号		0852-31-8835
協和通信工業(株)	代表取締役社長 岩石 博信	林 恒人	松江市平成町182-37		0852-23-8650
ごうぎんシステムサービス(株)	代表取締役社長 尼ヶ崎幹夫	長嶺 政典	松江市袖師町6番10号		0852-32-7680
小松電機産業(株)	代表取締役 小松 昭夫	川中 玲子	松江市乃木福富町735-188	湖南テクノパーク内	050-3161-2490
(株)コンピュータ・コンサルタント	代表取締役 杉本 博	杉本 博	浜田市朝日町70番地5		0855-23-5214
山陰ケーブルビジョン(株)	代表取締役会長 石原 恵行	錦織 修二	松江市学園1丁目2番27号		0852-23-2522
山陰中央テレビジョン放送(株)	取締役放送技術局長 渡部 勉	渡部 勉	松江市西川津町721番地		0852-23-3434
(株)CTU	代表取締役 村上 明久	村上 明久	隠岐郡隠岐の島町城北町667		08512-2-5567
(株)システム工房エム	代表取締役 持田 朝子	大谷 辰夫	松江市西津田3丁目2-3		0852-23-8590
(株)システムデザイン・アクティ	代表取締役 石本 光史	石本 光史	松江市浜乃木7丁目9番7号		0852-31-1670
合同会社 島根OSS研究所	職務執行者 鈴木 裕紀	小数賀 崇	松江市北陵町1番地	テクノアークしまね3F	0852-21-0919
(株)島根情報処理センター	代表取締役社長 竹治 雍史	柳樂 和洋	出雲市今市町321-3		0853-21-4674
島根電工(株)	代表取締役社長 陶山 秀樹	久葉 靖彦	松江市東本町5丁目46番地2		0852-26-2833
(株)スマートスタイル	代表取締役 野津 和也	三宅 大輔	東京都渋谷区元代々木町52-5	コムピア代々木公園ビル4F	03-5452-3031
セコム山陰(株)	代表取締役社長 神山 潔	長谷川 弘	松江市北陵町34番地		0852-23-6000
(株)谷口印刷	代表取締役 谷口 博則	景山 香子	松江市東長江町902番59		0852-36-5888
(株)ティーエム21	代表取締役 宮崎 照	宮崎 雅子	松江市北陵町52-2	ゆめっくす北陵14号室	0852-60-6810
(株)テクノプロジェクト	取締役 中島 一衛	広沢 誓一	松江市学園南2丁目10番14号	タイムプラザビル	0852-32-1140
日海通信工業(株)松江支店	副支店長 本常 賢一	本常 賢一	松江市古志原3丁目12番31号		0852-26-2255
(株)日本ハイソフト	代表取締役 杉原 悟	杉原 由利	出雲市芦渡町695-1		0853-23-0098
(株)ネットワーク応用通信研究所	代表取締役 井上 浩	黒谷 明大	松江市学園南2丁目12番5号	HOYOパークサイドビル2F	0852-28-9280
(株)浜田コンピュータシステム	代表取締役 安達 俊平	永井 美香	浜田市下府町327-85		0855-22-2020
バブ日立ソフト(株)	中国事業所松江事務所長 中本 一成	中本 一成	松江市朝日町478-18	松江テルサ別館2階	080-3017-6922
パストラルコンピューターシステム(株)	代表取締役 齋藤昭太郎	佐々木千代子	浜田市相生町3816		0855-22-5001
(有)ヒューマンネット	代表取締役社長 本田 晴男	田中 貴信	松江市南田町130-1	フォートビル3F	0852-31-2066
(NPO法人) プロジェクトゆうあい	理事長 三輪 利春	三輪 利春	松江市殿町33	坂本ビル1階	0852-32-8645
(株)マイメディア	代表取締役 秀浦 実晴	水津 弘子	益田市下本郷町56番地1		0856-22-4175
(株)マース	代表取締役 杉原 成也	杉原 成也	松江市北堀町332		0852-20-2577
(株)マツケイ	代表取締役社長 吉岡 宏	藤原 功己	松江市乃木福富町735-211	湖南テクノパーク内	0852-32-1616
(株)松江情報センター	専務取締役 宮崎 理	澤端 由佳	松江市母衣町180番地20		0852-22-8811
(株)ミック	代表取締役社長 宮脇 和秀	御輿 文雄	松江市学園南2丁目10番14号	タイムプラザビル	0852-27-0570
和幸情報システム(株)	代表取締役 山下 裕國	三代 雅之	松江市伊勢宮町560番地		0852-24-4471
(株)ワコムアイティ	代表取締役 多久和 厚	今岡 克己	松江市北陵町43番地		0852-20-7200
(正会員41社)					
〔賛助会員〕					
出雲コンピュータ専門学校	校長 広原 啓視	白枝 淳	簸川郡斐川町大字富村1000-8		0853-72-2500
(株)エヌ・ティ・ティ・コム中国支社 島根支店	支店長 藤下 謙司	田中 伸治	松江市東朝日町88-1		0852-25-9501
(株)ケイズ 島根支店	支店長 田丸 俊之	田丸 俊之	松江市東津田町堂の前1041-1		0852-24-8194
(株)山陰合同銀行	システム部長 木幡 均	和田 修也	松江市袖師町6番10号		0852-26-7222
(株)島根銀行	常務取締役 野田 哲也	竹原 信彦	松江市東本町2丁目35		0852-24-1237
ダイヤボウ情報システム(株)松江支店	支店長 後藤 恒宏	後藤 恒宏	松江市朝日町498-6		0852-27-1621
西日本電信電話(株) 島根支店	法人営業部長 山藤 眞	中村 浩伸	松江市東朝日町102		0852-20-7686
日本電気(株) 山陰支店	支店長 辻本 裕喜	辻本 裕喜	松江市朝日町477番地17	明治生命松江駅前ビル	0852-24-4115
(株)日立情報システムズ 山陰営業所	営業所長 吉田 学	吉田 学	松江市御手船場551	ニッセイ松江ビル9F	0852-24-1021
(株)日立製作所 中国支社 山陰支店	支店長 景山 雅文	川本 篤司	松江市朝日町498-6		0852-26-7366
富士通(株) 山陰支社	支社長 田上 正史	田上 正史	松江市学園南2丁目10番14号	タイムプラザビル	0852-24-6624
松江総合ビジネスカレッジ	校長 佐野 明	岡田 隆宏	松江市東朝日町74		0852-26-8000
(賛助会員12社)					

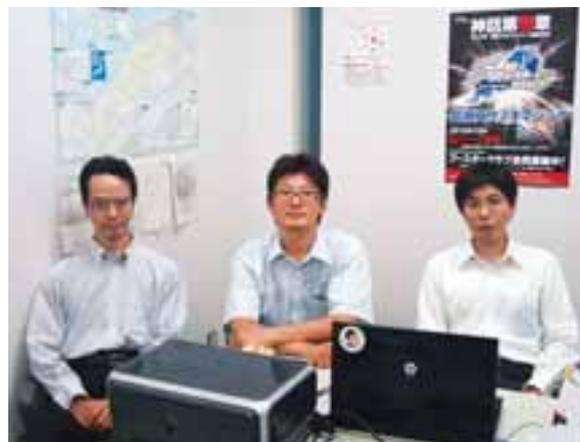
(理)：理事 (監)：監事

合同会社島根OSS研究所

〒690-0816 松江市北陵町1番地
職務執行者 鈴木 裕紀
TEL/FAX 0852-21-0919

今年の5月に入会させて頂きました、合同会社島根OSS研究所です。

当社は今年の4月に中部アイティ協同組合の全額出資を受け事業を開始しました。設立の目的は、島根県内企業様と中部アイティ協同組合の地域連携の窓口となり、県内企業様にニアショア案件の発注等を行いたいと考えております。その一環として今年の秋にはビジネスマッチング商談会を開催し、両地域の強みを生かした『島根×中京モデル』を形成することで、新たな市場開拓を進め、情報産業の発展に微力ながら貢献出来る企業に成長したいと考えております。



設立間もない会社でございますが、Ruby・OSSを核としたIT産業振興に取り組まれているこの地域にて、島根県情報産業協会加盟各社様のご指導ご鞭撻を賜りながら、ご支持を頂けるようにさまざまなことに挑戦していきたいと思っております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

株式会社エスティック

〒693-0004 出雲市白枝町607-6番地
代表取締役 中筋 雄三
TEL 0853-22-8140 FAX 0853-22-8064

株式会社エスティックは、1984年、地元建設業の株式会社中筋組情報開発室として誕生。1989年、中筋組より分離独立し現在に至っています。社員数は24名（2010年4月1日現在）。当初はIBM特約店として、グループ内、また地元企業に対し、AS400を中心とした業務系の仕事がメインでした。1997年には、グループ内へのLotusNotes（現IBM）の導入、2002年には旧佐田町の光インフラ整備を手掛けるなど、販売だけではなく、開発、保守、スクールと幅広く活動を行ってまいりました。



最近では、2008年、地元企業との共同で、Rubyによる島根県GIS基盤整備事業を、また、2009年にはオープンソースにて島根大学の評価情報システムを受注するなど、その中身は大きく様変わりしてきました。とは言え、創立より22年が経過した現在でも、地元を根を下ろし、地域に密着した営業スタイルは変わることなく、今後もそのスタイルを崩すことなく歩んでいきたいと思っております。